

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査

調査名：魚卵・稚仔魚調査（魚卵）

調査年月日：平成17年4月27日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：国土環境株式会社

採取方法：まるち型改良ネット（水平曳き、2ノット5分）

備考：

番号	門	綱	目	科	学名	和名	St.5	St.16	St.18	St.19	St.25	St.	
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	ニシ	<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ	22,166	21,302	6,887	3,459	66	5,242	
2				カクチイシ	<i>Engraulis japonicus</i>	カクチイシ	230	49,642	32,285		65,919	31,632	
3			スギ	ホラ	MUGILIDAE	ホラ科	4						
4			カウ	スッホ	CALLIONYMIDAE	スッホ科	1,732	28,809	15,991	4	1,293	23,994	
5			不明	不明	Unidentified s.o. Egg A	単脂球形卵 A	238	563	190		69	494	
							種類数	5	4	4	2	4	4
							合計	24,370	100,316	55,353	3,463	67,347	61,362

注：単脂球形卵 Aは、卵径0.83～0.96mm、油球径0.18～0.21mmである。

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査

調査名：魚卵・稚仔魚調査（魚卵）

調査年月日：平成17年4月27日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：国土環境株式会社

採取方法：まるち型改良ネット（水平曳き、2ノット5分）

備考：

番号	門	綱	目	科	学名	和名	St.	St.	St.a	合計	
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	ニシ	<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ	23,625	26	156,700	239,473	
2				カクイ	<i>Engraulis japonicus</i>	カクイ	1,515	9	166	181,398	
3			ス	ホ	MUGILIDAE	ホ科				4	
4			カ	ス	CALLIONYMIDAE	ス科	1,360	9	696	73,888	
5			不明	不明	Unidentified s.o. Egg A	単脂球形卵 A	121	4	898	2,577	
							種類数	4	4	4	5
							合計	26,621	48	158,460	497,340

注：単脂球形卵 Aは、卵径0.83～0.96mm、油球径0.18～0.21mmである。

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査

調査名：魚卵・稚仔魚調査（魚卵）

調査年月日：平成17年5月26日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：国土環境株式会社

採取方法：まるち型改良ネット（水平曳き、2ノット5分）

備考：

番号	門	綱	目	科	学名	和名	St.5	St.16	St.18	St.19	St.25	St.
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	ニシ	<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ	1,497	573	264	510	8	318
2				カクタイシ	<i>Engraulis japonicus</i>	カクタイシ	18,881	107,307	7,861	21,272	17,969	11,349
3			スギ	ホラ	MUGILIDAE	ホラ科				17		16
4			カウ	スッホ	CALLIONYMIDAE	スッホ科	10	220	35		131	54
5			不明	不明	Unidentified s.o. Egg B	単脂球形卵 B	106	27	56	13	23	186
6					Unidentified s.o. Egg C	単脂球形卵 C	1,577	3,007	1,000	255	846	1,744
7					Unidentified s.o. Egg D	単脂球形卵 D	231	1,153	229	56	177	279
種類数							6	6	6	6	6	7
合計							22,302	112,287	9,445	22,123	19,154	13,946

注) 1. 単脂球形卵 Bは、卵径0.63～0.70mm、油球径0.13～0.15mmである。

2. 単脂球形卵 Cは、卵径0.73～0.80mm、油球径0.15～0.17mmである。

3. 単脂球形卵 Dは、卵径0.83～0.93mm、油球径0.18～0.20mmである。

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査

調査名：魚卵・稚仔魚調査（魚卵）

調査年月日：平成17年5月26日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：国土環境株式会社

採取方法：まるち型改良ネット（水平曳き、2ノット5分）

備考：

番号	門	綱	目	科	学名	和名	St.	St.	St.a	合計
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	ニシ	<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ	275	861	170	4,476
2				カクチイシ	<i>Engraulis japonicus</i>	カクチイシ	343	10	4,196	189,188
3			ヌキ	ホラ	MUGILIDAE	ホラ科				33
4			ウハ	ヌッホ	CALLIONYMIDAE	ヌッホ科	3			453
5			不明	不明	Unidentified s.o. Egg B	単脂球形卵 B			140	551
6					Unidentified s.o. Egg C	単脂球形卵 C	87		332	8,848
7					Unidentified s.o. Egg D	単脂球形卵 D	6		136	2,267
種類数							5	2	5	7
合計							714	871	4,974	205,816

注) 1. 単脂球形卵 Bは、卵径0.63～0.70mm、油球径0.13～0.15mmである。

2. 単脂球形卵 Cは、卵径0.73～0.80mm、油球径0.15～0.17mmである。

3. 単脂球形卵 Dは、卵径0.83～0.93mm、油球径0.18～0.20mmである。

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査

調査名：魚卵・稚仔魚調査（魚卵）

調査年月日：平成17年6月21日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：国土環境株式会社

採取方法：まるち型改良ネット（水平曳き、2ノット5分）

備考：

番号	門	綱	目	科	学名	和名	St.5	St.16	St.18	St.19	St.25	St.
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	ニシ	<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ	7,018	5,915	4,274	194	4,531	7,900
2				カササギ	<i>Engraulis japonicus</i>	カササギ	3,691	6,333	6,896	775	221,054	20,264
3			カ	カ	CALLIONYMIDAE	カ科			19		15	18
4			不明	不明	Unidentified n.o. Egg A	無脂球形卵 A	9					
5					Unidentified s.o. Egg E	単脂球形卵 E	55	271	160	5	177	836
6					Unidentified s.o. Egg F	単脂球形卵 F	64	3,078	1,519	5	1,123	1,455
7					Unidentified s.o. Egg G	単脂球形卵 G	255	1,085	2,604	62	3,423	5,691
8					Unidentified s.o. Egg H	単脂球形卵 H	82	140	47		231	936
種類数							7	6	7	5	7	7
合計							11,174	16,822	15,519	1,041	230,554	37,100

注) 1. 無脂球形卵 Aは、卵径0.82mmである。

2. 単脂球形卵 Eは、卵径0.60～0.63mm、油球径0.13～0.15mmである。

3. 単脂球形卵 Fは、卵径0.65～0.72mm、油球径0.15～0.18mmである。

4. 単脂球形卵 Gは、卵径0.73～0.80mm、油球径0.18～0.20mmである。

5. 単脂球形卵 Hは、卵径0.85～0.90mm、油球径0.18～0.20mmである。

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査

調査名：魚卵・稚仔魚調査（魚卵）

調査年月日：平成17年6月21日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：国土環境株式会社

採取方法：まるち型改良ネット（水平曳き、2/15分）

備考：

番号	門	綱	目	科	学名	和名	St.	St.	St.a	合計
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	ニシ	<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ	1,661	3,335	1,783	36,611
2				カササギ	<i>Engraulis japonicus</i>	カササギ	23	5	193	259,234
3			カ	カ	CALLIONYMIDAE	カ科				52
4			不明	不明	Unidentified n.o. Egg A	無脂球形卵 A				9
5					Unidentified s.o. Egg E	単脂球形卵 E			24	1,528
6					Unidentified s.o. Egg F	単脂球形卵 F	11	29	36	7,320
7					Unidentified s.o. Egg G	単脂球形卵 G	6		24	13,150
8					Unidentified s.o. Egg H	単脂球形卵 H			24	1,460
種類数							4	3	6	8
合計							1,701	3,369	2,084	319,364

注) 1. 無脂球形卵 Aは、卵径0.82mmである。

2. 単脂球形卵 Eは、卵径0.60～0.63mm、油球径0.13～0.15mmである。

3. 単脂球形卵 Fは、卵径0.65～0.72mm、油球径0.15～0.18mmである。

4. 単脂球形卵 Gは、卵径0.73～0.80mm、油球径0.18～0.20mmである。

5. 単脂球形卵 Hは、卵径0.85～0.90mm、油球径0.18～0.20mmである。

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査(その2)

調査名：魚卵稚仔魚調査(魚卵)

調査年月日：平成17年7月22日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：国土環境株式会社

採取方法：まるち型改良ネット(水平曳き、2/10分)

備考：

番号	門	綱	目	科	学名	和名	St.5	St.16	St.18	St.19	St.25	St.	
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	ニシ	<i>Sardinella zunasi</i>	サッハ	984	37,054	27,109	4	2,400	1,533	
2					<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ	250	904	681	67	15	35	
3					<i>Engraulis japonicus</i>	カクチイシ	8,022	84,819	43,294	414	176,570	180,159	
4				カ		SOLEOIDEI	ウシノシ垂目					356	
5				不明	不明	Unidentified n.o. Egg B	無脂球形卵 B	1,630	3,663	1,008	1,703	30	35
6						Unidentified s.o. Egg I	単脂球形卵 I	87	32,386	17,076	875	10,711	863
7						Unidentified s.o. Egg J	単脂球形卵 J	457	11,181	6,521	99	4,489	3,084
8						Unidentified s.o. Egg K	単脂球形卵 K		386	67		104	370
9						Unidentified s.o. Egg L	単脂球形卵 L						18
種類数							6	7	7	6	8	8	
合計							11,430	170,393	95,756	3,162	194,675	186,097	

注) 1. 無脂球形卵 Bは、卵径0.72~0.80mmである。

2. 単脂球形卵 Iは、卵径0.58~0.65mm、油球径0.12~0.15mmである。

3. 単脂球形卵 Jは、卵径0.67~0.77mm、油球径0.15~0.18mmである。

4. 単脂球形卵 Kは、卵径0.82~0.90mm、油球径0.15~0.20mmである。

5. 単脂球形卵 Lは、卵径0.96~1.00mm、油球径0.20~0.22mmである。

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査(その2)

調査名：魚卵稚仔魚調査(魚卵)

調査年月日：平成17年7月22日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：国土環境株式会社

採取方法：まるち型改良ネット(水平曳き、2/10分)

備考：

番号	門	綱	目	科	学名	和名	St.	St.	St.a	合計	
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	ニシ	<i>Sardinella zunasi</i>	サッハ	2,503	285	4,625	76,497	
2					<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ	1,615	854	239	4,660	
3				加ガチイシ	<i>Engraulis japonicus</i>	加ガチイシ	14	7	28	493,327	
4				加イ		SOLEOIDEI	ウシノシ垂目	7			363
5				不明	不明	Unidentified n.o. Egg B	無脂球形卵 B				8,069
6						Unidentified s.o. Egg I	単脂球形卵 I	385		28	62,411
7						Unidentified s.o. Egg J	単脂球形卵 J	154	7	40	26,032
8						Unidentified s.o. Egg K	単脂球形卵 K	7		6	940
9						Unidentified s.o. Egg L	単脂球形卵 L				18
種類数							7	4	6	9	
合計							4,685	1,153	4,966	672,317	

注) 1. 無脂球形卵 Bは、卵径0.72~0.80mmである。

2. 単脂球形卵 Iは、卵径0.58~0.65mm、油球径0.12~0.15mmである。

3. 単脂球形卵 Jは、卵径0.67~0.77mm、油球径0.15~0.18mmである。

4. 単脂球形卵 Kは、卵径0.82~0.90mm、油球径0.15~0.20mmである。

5. 単脂球形卵 Lは、卵径0.96~1.00mm、油球径0.20~0.22mmである。

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査(その2)

調査名：魚卵稚仔魚調査(魚卵)

調査年月日：平成17年8月18日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：国土環境株式会社

採取方法：まるち型改良ネット(水平曳き、2/15分)

備考：

番号	門	綱	目	科	学名	和名	St.5	St.16	St.18	St.19	St.25	St.
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	ニシ	<i>Sardinella zunasi</i>	サッパ	493	15,563	85	7	27	178
2				カクチイ	<i>Engraulis japonicus</i>	カクチイ	325	43,050	71,274	18,849	80,598	214,171
3			ウハウ	ヌッホ	CALLIONYMIDAE	ヌッホ科	5	3	24		27	
4			カイ	ウシシ	CYNOGLOSSIDAE	ウシシ科						51
5			不明	不明	Unidentified n.o. Egg C	無脂球形卵 C				45		
6					Unidentified s.o. Egg M	単脂球形卵 M		458	1,567	7	2,292	10,616
7					Unidentified s.o. Egg N	単脂球形卵 N		2,043	1,418	7	8,585	10,108
8					Unidentified s.o. Egg O	単脂球形卵 O	26	15	9		47	
9					Unidentified s.o. Egg P	単脂球形卵 P			6		13	51
種類数							4	6	7	5	7	6
合計							849	61,132	74,383	18,915	91,589	235,175

注) 1. 無脂球形卵 Cは、卵径0.75~0.83mmである。

2. 単脂球形卵 Mは、卵径0.60~0.65mm、油球径0.13~0.15mmである。

3. 単脂球形卵 Nは、卵径0.68~0.73mm、油球径0.15~0.18mmである。

4. 単脂球形卵 Oは、卵径0.75~0.83mm、油球径0.18~0.20mmである。

5. 単脂球形卵 Pは、卵径0.85~0.93mm、油球径0.16~0.18mmである。

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査(その2)

調査名：魚卵稚仔魚調査(魚卵)

調査年月日：平成17年8月18日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：国土環境株式会社

採取方法：まるち型改良ネット(水平曳き、2/1t5分)

備考：

番号	門	綱	目	科	学名	和名	St.	St.	St.a	合計
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	ニシ	<i>Sardinella zunasi</i>	サッパ		3		16,356
2				カクチイシ	<i>Engraulis japonicus</i>	カクチイシ		8	244	428,519
3			ウハウオ	ネッホ	CALLIONYMIDAE	ネッホ科			3	62
4			カレイ	ウシノタ	CYNOGLOSSIDAE	ウシノタ科				51
5			不明	不明	Unidentified n.o. Egg C	無脂球形卵 C				45
6					Unidentified s.o. Egg M	単脂球形卵 M			8	14,948
7					Unidentified s.o. Egg N	単脂球形卵 N				22,161
8					Unidentified s.o. Egg O	単脂球形卵 O	3		8	108
9					Unidentified s.o. Egg P	単脂球形卵 P				70
種類数							1	2	4	9
合計							3	11	263	482,320

注) 1. 無脂球形卵 Cは、卵径0.75~0.83mmである。

2. 単脂球形卵 Mは、卵径0.60~0.65mm、油球径0.13~0.15mmである。

3. 単脂球形卵 Nは、卵径0.68~0.73mm、油球径0.15~0.18mmである。

4. 単脂球形卵 Oは、卵径0.75~0.83mm、油球径0.18~0.20mmである。

5. 単脂球形卵 Pは、卵径0.85~0.93mm、油球径0.16~0.18mmである。

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査(その2)

調査名：魚卵稚仔魚調査(魚卵)

調査年月日：平成17年9月16日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：国土環境株式会社

採取方法：まるち型改良ネット(水平曳き、2ノット5分)

備考：

番号	門	綱	目	科	種名	和名	St.5	St.16	St.18	St.19	St.25	St.	
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	ニシ	<i>Sardinella zunasi</i>	サッハ [°]	11						
2				カクチイシ	<i>Engraulis japonicus</i>	カクチイシ	41,436	36,879	68,167	27,551	428,138	67,685	
3			ハクカイシ	イソ	SYNODONTIDAE	イソ科						6	
4			ウハウオ	ネスッホ [°]	CALLIONYMIDAE	ネスッホ科	5					23	
5			カイ	ウシノシタ	CYNOGLOSSIDAE	ウシノシタ科				5	4		
6			不明	不明	Unidentified s.o. Egg Q	単脂球形卵 Q	112	38	23	216	11	6	
7					Unidentified s.o. Egg R	単脂球形卵 R	5,532	253	484	486	425	1,455	
8					Unidentified s.o. Egg S	単脂球形卵 S	2,702	209	177	61	546	22	
9					Unidentified s.o. Egg T	単脂球形卵 T		143	451	139	34	404	
10					Unidentified s.o. Egg U	単脂球形卵 U	43		88			6	
11					Unidentified s.o. Egg V	単脂球形卵 V			5				
種類数							7	5	8	6	7	6	
合計							49,841	37,522	69,400	28,457	429,183	69,578	

注) 1. 単脂球形卵 Qは、卵径0.58~0.60mm、油球径0.13~0.15mmである。

2. 単脂球形卵 Rは、卵径0.63~0.68mm、油球径0.13~0.15mmである。

3. 単脂球形卵 Sは、卵径0.70~0.73mm、油球径0.15~0.17mmである。

4. 単脂球形卵 Tは、卵径0.75~0.85mm、油球径0.18~0.20mmである。

5. 単脂球形卵 Uは、卵径0.88~0.93mm、油球径0.15~0.17mmである。

6. 単脂球形卵 Vは、卵径1.03mm、油球径0.20mmである。

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査(その2)

調査名：魚卵稚仔魚調査(魚卵)

調査年月日：平成17年9月16日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：国土環境株式会社

採取方法：まるち型改良ネット(水平曳き、2/10分)

備考：

番号	門	綱	目	科	種名	和名	St.	St.	St.a	合計	
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	ニシ	<i>Sardinella zunasi</i>	サッハ	34			45	
2				カクチイシ	<i>Engraulis japonicus</i>	カクチイシ		376	43	670,275	
3				ハクカイシ	イソ	SYNODONTIDAE	イソ科				6
4				ウハウオ	ネスッホ	CALLIONYMIDAE	ネスッホ科			4	32
5				カイ	ウシノシタ	CYNOGLOSSIDAE	ウシノシタ科				9
6				不明	不明	Unidentified s.o. Egg Q	単脂球形卵 Q	17			423
7						Unidentified s.o. Egg R	単脂球形卵 R		5	4	8,644
8						Unidentified s.o. Egg S	単脂球形卵 S		217	9	3,943
9						Unidentified s.o. Egg T	単脂球形卵 T				1,171
10						Unidentified s.o. Egg U	単脂球形卵 U				137
11						Unidentified s.o. Egg V	単脂球形卵 V				5
種類数							2	3	4	11	
合計							51	598	60	684,690	

注) 1. 単脂球形卵 Qは、卵径0.58~0.60mm、油球径0.13~0.15mmである。

2. 単脂球形卵 Rは、卵径0.63~0.68mm、油球径0.13~0.15mmである。

3. 単脂球形卵 Sは、卵径0.70~0.73mm、油球径0.15~0.17mmである。

4. 単脂球形卵 Tは、卵径0.75~0.85mm、油球径0.18~0.20mmである。

5. 単脂球形卵 Uは、卵径0.88~0.93mm、油球径0.15~0.17mmである。

6. 単脂球形卵 Vは、卵径1.03mm、油球径0.20mmである。

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査（その3）

調査名：魚卵・稚仔魚調査（魚卵）

調査年月日：平成17年10月25日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：株式会社東京久栄

採取方法：まるち型改良ネット（水平曳き、2/ツト5分）

備考：

番号	門	綱	目	科	種名	和名	St.5	St.16	St.18	St.19	St.25	St.	St.	St.	St.a	合計
1	脊椎動物門	硬骨魚綱	ニシ目	カササギ科	<i>Engraulis japonicus</i>	カササギ	5	755	1,890	13	35,560	2,621	2		2	40,848
2			カササギ目	カササギ科	CALLIONYMIDAE	カササギ科		2	12		172	10				196
3			カササギ目		SOLEOIDEI	カササギ目					21					21
4			不明	不明	Unidentified s.o. Egg A	単脂球形卵 A					579	3				582
5					Unidentified s.o. Egg B	単脂球形卵 B					21	2				23
						種類数	1	2	2	1	5	4	1	0	1	5
						合計	5	757	1,902	13	36,353	2,636	2	0	2	41,670

注) 1. 単脂球形卵 Aは、卵径0.68～0.70mm、油球径0.13～0.15mmである。

2. 単脂球形卵 Bは、卵径0.90～0.93mm、油球径0.18～0.20mmである。

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査（その3）

調査名：魚卵・稚仔魚調査（魚卵）

調査年月日：平成17年11月25日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：株式会社東京久栄

採取方法：まるち型改良ネット（水平曳き、2/ット5分）

備考：

番号	門	綱	目	科	種名	和名	St.5	St.16	St.18	St.19	St.25	St.	St.	St.	St.a	合計
1	脊椎動物門	硬骨魚綱	ニシ目	カササギ科	<i>Engraulis japonicus</i>	カササギ		21	22	228	5,354	136				5,761
2			スズキ目	スズキ科	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ					117					117
3			ウハウオ目	スズキ科	CALLIONYMIDAE	スズキ科		10		7	284	4	2			307
4			カレイ目	ウツリガ科	CYNOGLOSSIDAE	ウツリガ科					27					27
5			不明	不明	Unidentified s.o. Egg C	単脂球形卵 C					181					181
						種類数	0	2	1	2	5	2	1	0	0	5
						合計	0	31	22	235	5,963	140	2	0	0	6,393

注) 単脂球形卵 Cは、卵径0.68~0.70mm、油球径0.13~0.15mmである。

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査（その3）

調査名：魚卵・稚仔魚調査（魚卵）

調査年月日：平成17年12月21日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：株式会社東京久栄

採取方法：まるち型改良ネット（水平曳き、2/ツト5分）

備考：

番号	門	綱	目	科	種名	和名	St.5	St.16	St.18	St.19	St.25	St.	St.	St.	St.a	合計
1	脊椎動物門	硬骨魚綱	スズキ目	スズキ科	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ		5			2	2				9
						種類数	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1
						合計	0	5	0	0	2	2	0	0	0	9

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査（その3）

調査名：魚卵・稚仔魚調査（魚卵）

調査年月日：平成18年1月24日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：株式会社東京久栄

採取方法：まるち型改良ネット（水平曳き、2/ット5分）

備考：

番号	門	綱	目	科	種名	和名	St.5	St.16	St.18	St.19	St.25	St.	St.	St.	St.a	合計
出現せず							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査（その3）

調査名：魚卵・稚仔魚調査（魚卵）

調査年月日：平成18年2月22日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：株式会社東京久栄

採取方法：まるち型改良ネット（水平曳き、2/ツト5分）

備考：

番号	門	綱	目	科	学名	和名	St.5	St.16	St.18	St.19	St.25	St.	St.	St.	St.a	合計
1	脊椎動物門	硬骨魚綱	スズキ目	スズキ科	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ					4					4
2			カレイ目	カレイ科	<i>Pleuronichthys</i> sp.	メタカレイ属					4					4
3			不明	不明	Unidentified s.o. Egg D	単脂球形卵 D									3	3
						種類数	0	0	0	0	2	0	0	0	1	3
						合計	0	0	0	0	8	0	0	0	3	11

注) 単脂球形卵 Dは、卵径1.03mm、油球径0.25mmである。

報告書名：平成17年度東京国際空港周辺海域現況調査（その3）

調査名：魚卵・稚仔魚調査（魚卵）

調査年月日：平成18年3月23日

個体数単位：個体/1000m³

調査機関：株式会社東京久栄

採取方法：まるち型改良ネット（水平曳き、2ノット5分）

備考：

番号	門	綱	目	科	学名	和名	St.5	St.16	St.18	St.19	St.25	St.	St.	St.	St.a	合計
1	脊椎動物門	硬骨魚綱	ニシ目	ニシ科	<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ	2								6	8
						種類数	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
						合計	2	0	0	0	0	0	0	6	0	8